



平成27年度 九州合唱コンクール銀賞受賞 志免中央小学校合唱部「合唱スピリッツ」

わが町のきらっとさん!

美しいハーモニーを奏でる
志免中央小学校合唱部「合唱スピリッツ」



スピリッツ部員

志免中央小学校の合唱部「合唱スピリッツ」は、四年生から六年生までの歌うことが大好きな児童四十五名で活動しています。毎朝の練習では、発声を中心に、週三回の放課後練習では、ハーモニー作りを中心に練習しています。昨年度は、九州合唱コンクール福岡県予選で銀賞、NHK全国音楽コンクール福岡県予選で銅賞を受賞いたしました。校内では、全校児童の前で歌声を披露する機会や、志免町文化祭、糟屋区小学校

音楽交流会などで発表する機会を得ました。「美しいハーモニー」は、他の人の声に耳を傾け、自分の思いを重ねることから生まれます。合唱スピリッツの活動で学んだ多くのことを、日々の学校生活でも生かしていきたいと思えます。そして卒業した先輩たちの思いを引き継ぎ、今年度も、「美しいハーモニー」を多くの人に聴いていただけるように頑張っていきます。



入学式の様子

議会事務局紹介



堀係長 世利局長

【議会広報特別委員会】

発行責任者 大林 弘明 議長
委員長 吉田 大作
副委員長 近藤 辰也
委員 寺田 秀和
二宮 美津代
大西 勇
牟田口 武史

お知らせ

次回の定例会は 6月3日予定

傍聴に是非お越しく下さい。

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。

ぜひお越しく下さい。車椅子席もあります。

詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です

メールアドレス: gikai@town.shime.lg.jp

3月定例会

- 修正予算案 **可決**
堅坑櫓保存費削除 p2~4
- 条例の制定
行政不服審査会条例 p6~7
- 議会あれこれ
議会報告会回答 p21

過去最大予算125億2300万円を124億9824万円に修正

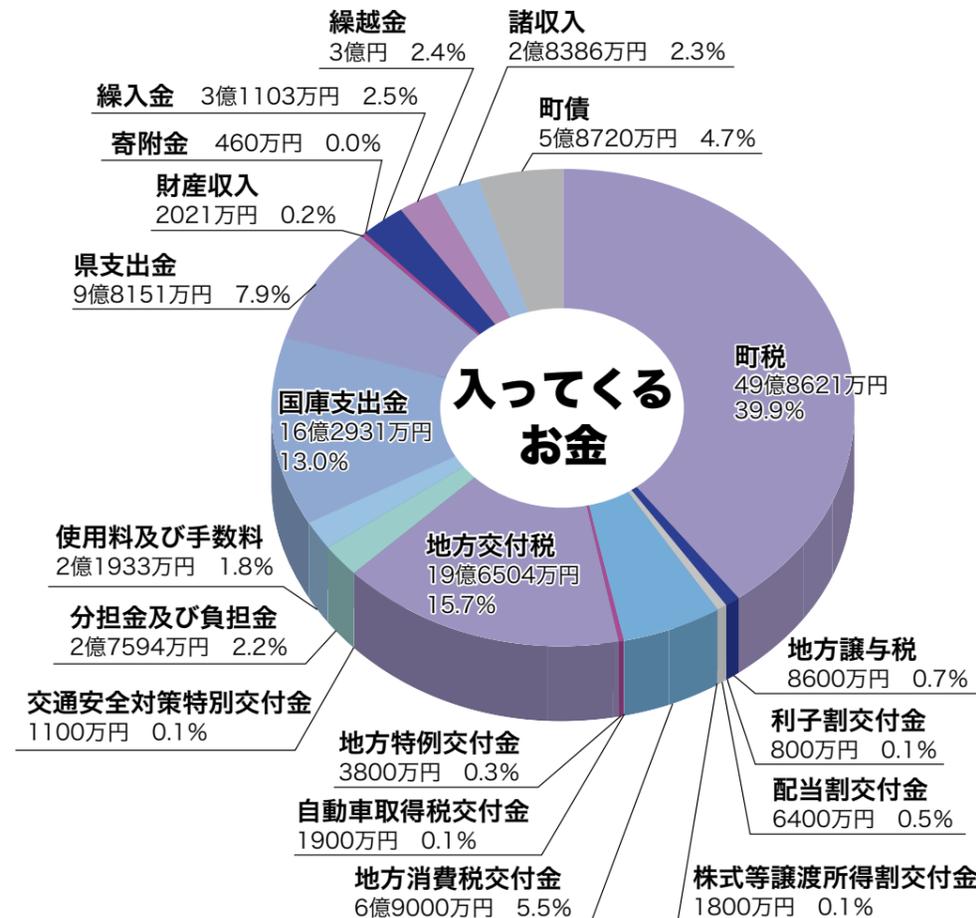
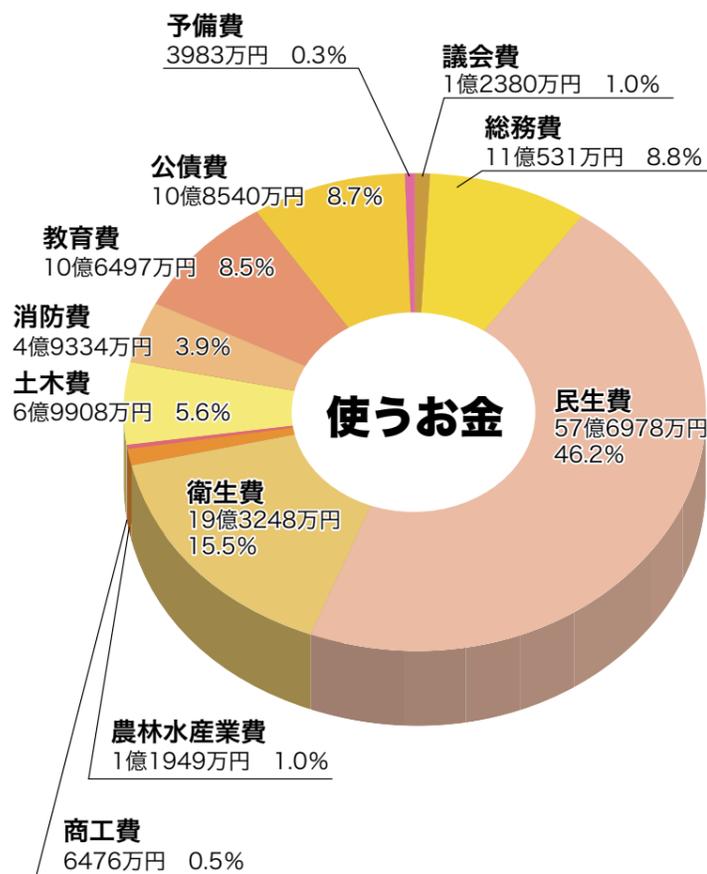
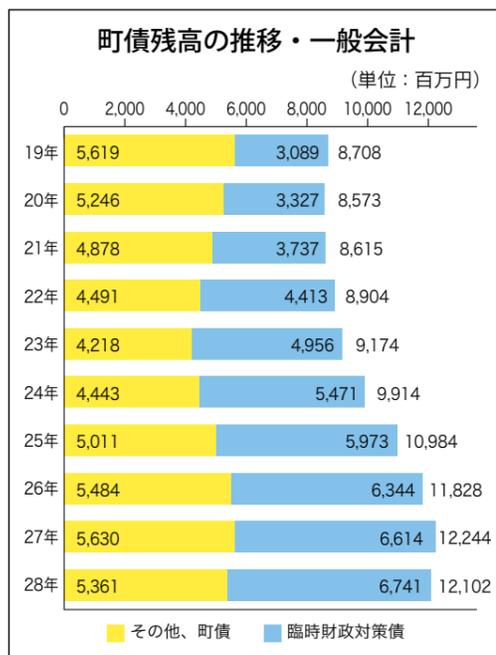
3月
定例会

前年度比2億
賛成多数で可決
(賛成9人、反対3人)

3124万円増 (前年度比1.9%増)
※万円未満四捨五入

【賛成】 近藤、牟田口、安河内、吉田、助村、野上、牛房、古庄、二宮
【反対】 寺田、丸山、末藤

平成28年度末の町債残高は1億4217万円減の121億204万円となる見込みです。東中学校体育館大規模改造事業及び情報セキュリティ強化対策事業が平成27年度発行を予定、小中学校施設の耐震化、大規模改造事業が最盛期を過ぎた平成20年度以来8年ぶり減少した。



3月定例会は4日から23日まで20日間の会期で開かれました。議案36件中35件可決、1件継続審査。最終日に人事案件4件に同意、意見書2件可決。一般質問は3月7日、8日、9日の3日間で9人が行いました。

反対討論 古庄議員
 堅坑槽は町のシンボルです。自治体でも、活性化のための投資は必要です。機関車を譲渡した珍珠町でもこの結果、大変な観光客が訪れています。今回は国の宝(重要文化財)として、国と一緒に計画をたて費用の半分を国が負担する訳です。自主財源が半分近い志免町。こういう時こそ将来のために投資し、これを磨き、子供の郷土愛育成や町益に繋げるべきです。

賛成討論 末藤議員
 議会への説明が余りにも不十分であり、議会軽視である。審査拒否もできると指摘する。住民の声も聞かず、唐突すぎる。たった30分の説明でこれ迄に指摘していた耐震への問題、活用方法も回答がない。修正については、説明に納得がいけば賛成されると思う。堅坑槽の事業全体を反対するものではない。

堅坑槽保存整備事業総額6億5058万7千円の内今年度分2475万8千円を削除する修正動議を可決。

平成28年度 当初予算 特別会計

・住宅新築資金	1311万円(全員賛成)
・国民健康保険	53億9400万円(全員賛成)
・後期高齢者医療	5億1269万円(賛成多数)
・水道事業	10億3962万円(全員賛成)
・流域関連公共下水道	11億7545万円(全員賛成)

平成27年度補正予算(第5号)

一般会計

3億4249万7千円追加 総額129億3789万5千円
賛成多数で可決

(賛成12：反対1)

補正の主なもの

- **情報化推進事業** **4352万円**
セキュリティ対策強化のシステム改修事業
- **年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業** **1億2479万円**
給付事業が28年度にわたるため
- **志免東中学校体育館大規模改造事業** **3億3111万円**
年度内に事業完了が見込めない
- **公用車購入費(福祉バス貸出事業)** **539万円減**
福祉バス買いかえの入札差金
- **個別予防接種委託料** **3000万円減**
子宮頸がん予防接種後の副作用を心配する方が多く接種人数が減った

平成27年度特別会計補正予算

- **国民健康保険**……………(全員賛成)
2501万4千円減 総額55億5936万円
- **水道事業**……………(全員賛成)
1422万4千円減 総額9億1593万1千円
- **後期高齢者医療**……………(賛成多数)
1438万円減 総額5億2847万8千円
- **流域関連公共下水道事業**…(全員賛成)
800万円減 総額11億3126万5千円

トピックス 堅坑槽の保存事業費削除 議会修正動議可決

議会修正動議可決



国重要文化財志免鉾業所「堅坑槽」

今議会、一般会計当初予算の中で国重要文化財志免鉾業所「堅坑槽」の保存事業費2476万円について議員より修正動議が提出され、賛成多数(8対4)で可決。

同事業はコンクリートはく落防止工事など、31年度までの4年間にわたり実施する計画。

総事業費は約6億5千万円を予定していた。(二分の一は国負担)

議会側から、「予算規模が大きいのに、提案が唐突。説明資料や事業内容の説明が足りない。町民の声を反映していない」などと反発。事業そのものに反対ではないが、近くには、活断層を示す地層のずれが宇美断層や警固断層で確認されている。耐震性の検討も必要等の理由から予算が削除された。

動議

議長不信任案 可決

提出者 古庄議員 動議賛成者 牟田口議員
採決結果(無記名投票) 賛成8人 反対4人(議長欠席)

大林議長使用の26年度のタクシー代について、町民から監査請求がなされた。その趣旨は・休日や公務でない時の使用・私的な酒宴や病氣治療通院等々、私的使用が多い。

また、本会議他への出席では、一日2千円の旅費を受給しているのにタクシー券を使用し二重取り他。監査の結果、監査可能期間では、使用68万円で、内72%の49万円が不正使用と判明、請求者にこの見解が示される前に「過誤」として議長が町に49万円を返金。これは不正使用の一部。私は24年から4度も本件について指摘し反省を促してきたが益々ひどくなってきた。これは確信犯的行為であり、町民や議会を愚弄する背任行為。公費不正使用は、町の職員なら即懲戒免職だ。

例

町の憲法

条

志免町行政不服審査会条例の制定

行政不服審査法が施行されることに伴い、志免町不服審査会を設置。

審査会は委員5人以内をもって組織し志免町情報公開審査委員会が兼務できるものとする。

平成28年4月1日施行

全員賛成

志免町道路占用条例の制定

道路に関する条例を整備するもの。

平成28年4月1日施行

全員賛成



町道認定

志免町職員の給与に関する条例の一部を改正

東京都特別区に勤務する職員の地域手当の規定を追加。

平成28年4月1日施行

全員賛成

※厚生労働省に1名出向

志免町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の改正

志免町乳幼児・子ども医療費支給制度の支給対象年齢を通院は小学校6年生まで、入院を町単独で中学3年生まで拡大する。

平成28年10月1日施行

全員賛成

志免町法定外公共物占用料徴収条例の制定

法定外公共物の占用料徴収に関し必要な事項を定める。

平成28年4月1日施行

全員賛成

継続審査

志免町総合福祉施設「シーメイト」条例の一部を改正

財政運営の健全性、行政サービス水準、住民負担の公平性等を確保するため使用料の見直しを行うもの。

シーメイトは福祉施設であり使用料の値上げはすべきではないと意見があり、継続して審査する事になった。

志免町職員の退職管理に関する条例の制定

離職後2年間、職務上の行為をするように、又はしないように要求し、又依頼してはならない。

平成28年4月1日施行

全員賛成

志免町消費生活センターの組織及び運営等に関する条例

消費生活センターには消費生活相談員資格試験に合格した者を置く。

平成28年4月1日施行

全員賛成

指定管理者の指定について

志免町高齢者等集会所「コミュニティの部屋」の指定管理者を指定するもの。

期間平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

※指定者 松ヶ丘町内会

全員賛成



シーメイト浴場

※行政提案

シーメイトの湯使用料250円→300円
ウォーター型マッサージ機使用料100円→150円

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教常任委員会

児童保育の課題

待機児童は解消する

西学童保育所の工事が終り現在改修している既存棟は3月22日より開始する。

新年度より4学童となり、定員は160人から200人で待機児童はなくなるとの報告を受けた。他校の定数については、南学童定数60人に対し申し込み者数65人。東学童60人が71人、志免学童100人が120人。

- ・課題として次の事項が出された
 - ・転入生が人所でできず困っている
 - ・指導員の不足
 - ・雇用のあり方や賃金など考え直すべき
 - ・連合会の存続
 - ・長期休みへの対応
 - ・おやつ等食の安全について
- 連合会の課題については、以前は単体でやっていたが現在の運営方式になって、統一した指導方法が確立していない。
- 連合会の委託について検討し対処したい。



新しくなった西学童保育所

学校給食の業務委託

プロポーザル方式で随意契約(3年の長期継続)

給食調理業務については、プロポーザル方式で、3年の長期継続契約を行っている。

業務内容・業者名の資料提出。雇用者の賃金は県の基準で見ているが企業によっても違う。

食の安全については、現在問題になっているトランス脂肪酸(マーガリン等に含まれる)の代替、食物アレルギーへの対応(エピペン注射等)をしっかりやってほしい。

不登校支援事業 ソーシャルワーカー など12名で対応

NPO法人「ぐんぐん」に委託。不登校の状況は小学校7人中学校45人。過去5年間では45人から58人の間で、推移している。出現率は約1.4% (全国平均1.2%)

町としての対応は不登校対応学級に補助員及び心の教育相談員を配置し教室復帰を支援している。

アンケートによる不登校の未然防止、早期対応にも取り組んでいる。

来年度に向け、職員研修や校内、町の主催する研修会等で説明しながら教職員への周知徹底を図る。

「不登校」の取り扱いは30日の長期欠席の児童・生徒でフリースクール等に通っている生徒については校長が施設での様子を見て判断。

不登校の問題は大変難しく学校に復帰することが最悪か、なごスクールカウンセラー等で対応している。

厚生建設常任委員会

なかなか掴めない 高齢者見守り活動事業

高齢者見守り活動推進事業において、各町内会の見守り活動については、隣組の組長など近隣の住民による不断の見守りを行っているのが22町内会、福祉推進委員・民生委員等による戸別訪問が20町内会、一人暮らし高齢者、高齢者等の情報交換を行っているのが26町内会とのこと。

普段の町内会の見守り活動が大事、回覧や配付物の手渡しなど、細かいことが見守りにつながることを周知徹底してほしいと要請した。



町内会の見守り活動

スムーズな移行に配慮を

地域包括ケアシステムについては、要支援1・2の方が受ける予防給付(通所・訪問介護)の地域支援事業への移行については、構成6町合同で事業所向けの説明会を行い、今後は、要支援1・2の方の支援にかかわるケアマネージャーに対する周知も行っていくとの事。

生活支援サービスの受け入れとして社協の地域支援事業との連携を考えるべきだとの意見があり、地域支援事業の移行について、サービスの利用者や事業所が混乱しないよう、スムーズな移行に特に配慮するよう要請した。

1月の大寒波による被害状況

下水道課より、1月下旬の寒波による被害の状況と収束状況について報告を受けた。

これについては予想を超えた大雪と気温の低下により、水道管の凍結や漏水事故が多発した。

1月24日から25日の被害の問い合わせが増え、25日から29日までの問い合わせ件数が350件を超えた。

2月5日から14日にかけて検針員と職員で高齢者世帯や空き家を中心に約2,400軒の戸別訪問をし、漏水の確認作業を行い、漏水16件を確認。

被害件数や漏水水量が大きいため、水道料の減免を特例として5分の4減免を行う。

これについては3月の広報とホームページでお知らせする。

議会運営委員会 (研修報告)

「大学との連携を考慮したい」

- ・目的 議会改革の実際
- ・日程 2月8日・9日
- ・視察先 山梨県昭和町議会 山梨学院大学

全国初となる大学との連携事業は今年で8年目となる。

- ・大学生とのワークショップ
- ・学生会議での政策提案
- ・住民との対話を実現した井戸端会議
- ・区長との意見交換会
- ・議会モニター制度

などパワーポイントで説明を受けた。

山梨学院大学政治行政学科の学生との意見交換を大学の図書情報センターで行った。

ワークショップやインタビューなど、若者が政治に関心を持つ環境の整備について熱く語ってくれた。

大学との連携による政策提案、学生会議など、志免町議会でも考慮したい。



昭和町議会で説明を受ける



山梨学院大学生との意見交換



吉田 大作 議員

町制80周年に向け姉妹都市を 答弁／歴史を大事に今後引き継ぐ

吉田 3年後に迎える町制80周年に向けての思いは。
町長 過去の歴史を大事にし今後引き継ぐ。新しい町として進んでいきたい。
吉田 それに向けてのビジョン、イベント等の構想は。
町長 来年度からしっかり取り組みしっかり検討する。
吉田 過去に何かやったのか？
町長 50周年に記念誌を発行

吉田 記念誌の発行だけでは税金を納められている町民の方へ開かれたものではないのでは？
80周年は人間で言えば傘寿、イベントの一つとして姉妹都市を結ばれてはどうか。過去に経緯は。
町長 過去に姉妹都市を結んだ事はない。
吉田 SL機関車の譲渡、文化祭等での交流のある大分県玖珠町と姉妹都市を結ばれてみては？

は玖珠町での機関庫まつりに志免町のブースを設けていた。だく事になっていた。
吉田 機関車のみならず、文化祭、商工関係等多岐にわたる交流が芽生えている。
町長 地域の特産品を互いに消費する互産互消と言う言葉もある。しっかり調査研究しながら、そういった方向に進みたい。
吉田 閉塞感のある暗い今の時代、町民の皆さまに明るい話題を。

生活環境課長 玖珠町との御縁、経緯は機関車を引き受け活用したいとの申し出があり、新たなステージで輝けるならばと無償譲渡となった。
社会教育課長 文化祭では2年続けてこいのぼりの貸し出し等で交流がある。

地域交流課長 商工会関係で



玖珠町へ譲渡されたSL機関車



ズバリ町政を問う

吉田 大作 議員 11P

①町政 80 周年に向けて具体的な構想は

二宮美津代 議員 12P

①都市計画マスタープラン進捗状況と新たな課題
②保育環境の整備 保育士の処遇改善

丸山真智子 議員 13P

志免町の教育について
①2学期制の検証・教育委員会制度改革
②「子どもの遊びが脳を育てる」公園の活用

寺田 秀和 議員 14P

①格納庫建て替え・車両更新
②公園利用

古庄信一郎 議員 15P

①志免宇美線道路建設
②地域コミュニティの考え方

野上 順子 議員 16P

①防災への取り組み

牛房 良嗣 議員 17P

①町長の思いは予算に反映されたか

末藤 省三 議員 18P

①インフルエンザ対策
②地方創生

牟田口武史 議員 19P

①子どもの学力と体力
②部活指導について

会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。
詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として聞いたことです。
質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で1問1答で行います。

※桜は志免町花です

都市計画マスタープランの周知

答弁／中間見直しも含め説明したい



二宮 美津代 議員

二宮 住民主体のまちづくりを進めるとする取り組みは、町長 平成32年の中間年に見直しを行う。事あるごとに説明を行った。

二宮 まちづくり協議会組織の立ち上げや、専門家の派遣による人材育成は、都市整備課長 現在住民からの派遣要望はない。勉強会等の要望が出れば、福岡県まちづくり専門家派遣制度がある。

二宮 立地適正化計画との整合性は、都市整備課長 都市再生特別措置法で、都市機能増進施設の立地の適正化を図るための計画。志免町では策定しない。

二宮 コンパクトシティ構想についての認識は、町長 町全体が87平方キロでコンパクトな町ではあるが、その中でも専門性のあるものを集める。



志免町都市計画マスタープラン

二宮 保育士さんが長続きしない現場の実態がある。安定的な保育士確保への対策を、町長 働きがいのある職場づくりが必要。しっかりと支援したい。

二宮 資格を持ちながら現場を離れている潜在保育士さんは全国で70万人以上。給与面待遇改善がある。

町長 給料ベースでもかなり低い。国、県にもお願いし町としても取り組む。

二宮 非正規で不安定な就労状況で、認可外の保育所しか入られない状況がある。認可保育所との保育料差額の補助が出来ないか。待機児童対策にもなると思う。

町長 認可外では一率5万円と聞く。補助はしたいが、財政的な問題もある。しっかりと調査研究し、どれくらい負担増になっているか調べたい。

二宮 国も今年度幼児教育の無償化の対象を拡大する方針。保育環境の整備を進め、子育て世代に選ばれる町に。

町長 志免町に住んでみたい若い人たちにそう思われる施策が必要だと思う。

安定的な保育士の確保を

答弁／働きがいのある職場づくりが必要

二学期制は効果検証の時期

答弁／教育委員会として検証を協議



丸山 真智子 議員

丸山 教育の充実を図ることは、未来を担う人材育成に大切であり、地方創生にもつながる。まず、志免町の小・中学校は10月の連休を挟んで前期と後期に分れる2学期制だが、導入の経過を尋ねる。

学校教育課長 平成15年度から3年間試行し、平成18年度から本格実施している。

丸山 どうして変えたのか。学校教育課長 2学期制のメリットは年間20時間程度の授

業時数が確保される。7月や12月に2者面談や、3者面談を実施して、長期休業中の学習について個別に相談や指導ができる。

丸山 県内で学校別に見ると、小学校738校中94校、中学校333校中36校しか導入していない。他は3学期のままだし、横浜では学校単位で3学期制に戻すところも出てきた。本格導入から10年、効果を検証されたのか。保護者や教職員へのヒアリングやアンケートを実施され

たのか。2学期制続行なら説明責任が求められる。学校教育課参事 教育委員会が検証のあり方等を協議する。

丸山 全国学力・学習状況調査の結果はどうか。学校教育課長 全国平均より小学校は上だが中学校は下回っている(平成27年度結果)。

丸山 昨年4月の教委制度改革で町長の教育行政への関与



「子どもの遊びが脳を育てる」公園の活用(平成の森公園)

が強まった。町長の思いは、町長 教育は未来の担い手を育てていく基本的なことだ。

障害者差別解消法へ対応は

答弁／積み重ねたものを充実させる

丸山 今年4月から障害者差別解消法が施行される。合理的配慮が法的義務だが教育現場は理解や準備が進んでいるのか。

学校教育課参事 これまでもインクルーシブ教育システムの構築は進めてきた。法律の内容は周知を徹底していく。

※インクルーシブ教育 障害の有無によらず誰れもが地域の学校で学べる教育



古庄 信一郎 議員

公民館建替え問題と矛盾点

答弁／地域としっかり協議し対応

古庄 公民館は地域コミュニティの中心施設だが、建替えが大きな問題となってくる。建設の古い順を伺う。

社会教育課長 昭和50年田富、51年桜丘、53年坂瀬と鏡、54年東区。以下省略

古庄 60年の御手洗迄が鉄筋でその後は木造の公民館。建設での地元負担金の実態は。

社会教育課長 4町内会が負担金を出しており、田富が1476万円、志免3と

古庄 都市計画道路宇美志免線の期成会が開催されないのは、県の工費の縮減問題でこの事だが、志免町分でも百億円以上の工費。町益にかなう路線、将来に禍根を残さないオープンな議論をすべき。

宇美志免線オープンな議論を

答弁／町益が一番大事と認識

古庄 都市計画道路宇美志免線の期成会が開催されないのは、県の工費の縮減問題でこの事だが、志免町分でも百億円以上の工費。町益にかなう路線、将来に禍根を残さないオープンな議論をすべき。

町長 地元と話をしながら、最終的には町益が一番大事と認識している。



都市計画道路宇美志免線



寺田 秀和 議員

なぜ格納庫を河川近くに建設

答弁／建てるスペースがない

寺田 格納庫は地域の中心にあり、消防団員が災害に対し集合し活動していた。格納庫を移転し建てる場所をなぜ河川敷近くにするのか。

町長 格納庫を建てるスペースがなく、その方向で進めている。

寺田 消防車両を更新するとき、車両を庁舎に置いてはどうか。

総務課長補佐 消防車両の機能が不具合を起こす可能性があり車両は残さない。

寺田 小型車両でも置いては、どうか。災害が起き、備蓄倉庫もあり搬送するとき役に立つのでは。

町長 年間では出番は少ない。備蓄品は公用車で運ぶべきで置くべきでない。

寺田 消火器を使って消火訓練をやっているが一戸建ての家の場合消火器、火災報知機の統計は。

総務課長補佐 調べたことは、南部消防署の確認では家庭では58%で一部設置は72%。

寺田 消火器の備えを勧めるべきでは。

総務課長 今後力を入れて進めていく。

寺田 町内放送が聞こえない場所がある。



第6分団格納庫

総務課長 防災行政無線のデジタル化工事を平成24・25年で行っている。平成23年度に音達調査を実施。

公園を見通しよくすべき

答弁／伐採、間引きを計画的に行う

寺田 公園や緑道木を伐採され見通しは良くなっているが、鉄道公園の防犯灯の周りの枝や幹も剪定・伐採はどうか。

生活環境課長 緑道は平成25年から28年の4年間で計画。防犯上悪い箇所の伐採、間引きをしている。

寺田 クスノキの枝や幹の剪定、伐採した後の切り株に下処理し撤去するのか。

生活環境課長 相談や苦情があれば確認し対応する。

寺田 鉄道公園内で小高い丘を平らにされる考えはあるか。

町長 現場を見て支障が出たら改善していく。

寺田 豎坑槽と鉄道公園は関係がある。今後の計画は。

町長 豎坑槽、旧勝田線跡の公園と緑道を一体化として今後活用したいと思う。

鏡が600万円、御手洗が300万円。

古庄 当時4町内会にとっては大変な額で、これだけの負担金を求めた経緯はなぜか。

社会教育課長 全く分からない。

古庄 全額町費を持って整備をするとなったのは、昭和62年の要綱改正後。同時に建替えも、おおむね木造30年、鉄筋が50年となった。当時「負担金を出せば建ててやる」との話も聞いた。2年後から別

社会教育課長 地元負担を頂いた公民館、建物の状況等を考慮しながら、財政関係もあり、地元や関係課と協議を重ねる。

古庄 建替え延長とか、全額町費又は一部地元負担とするにしても、何年もかけて地域の理解を得ながらやるべき問題で、早急に対応すべきだ。

町長 まさにタイムリーな質問で、地域としっかり連携をし、ご意見を聞きながら対応を行いたい。



牛房 良嗣 議員

地域・団体の取組む事業に支援を 答弁／調査の上、取組みに応援

牛房 平成28年度の超大型予算125億円に町長の町づくりへの思いはどこにどう反映されたか。

町長 公共施設総合管理計画が秋にできる。平成29年度から整備もふくめ取り組む。

牛房 福岡市のベッドタウンとして伸びてきた町の人口も平成25年、26年と転入者が転出者を下回る社会減へ、人口の減少が心配。特別の対策は。

町長 子どもを産み育てやす

牛房 子育ての若い世代は厳しい環境づくりを大事にしたい。

牛房 障害をもつ子どもへの支援が一番大事。パワフルキッズへの取り組みを問う。

福祉課長 パワフルキッズでは通所、集団療育のほか保育園を訪問し障害児やスタッフへの専門的支援をふやし充実をはかる。

牛房 軽い病気や怪我をした子どもの一時預かりの「病後児保育」については前々から提言してきたが整備が進まない。働いている保護者にとって大事な問題。町長の行動力に期待。早期整備を。

町長 前向きに検討する。

牛房 子育ての若い世代は厳

野上 災害時だけでなく防災マップ等を利用し、町を挙げて防災に取り組んでほしい。

町長 地域でしっかり見守り、大事な時は地域と町が連携をとり、防災対策する。

野上 災害時だけでなく防災マップ等を利用し、町を挙げて防災に取り組んでほしい。

野上 授業中災害がおきたら保育園、学校で親がむかえに来るまで責任をもって、子供をみてくれるのか。

子育て課長 町立保育園は避難場所になっている。保護者には事前に対応は、周知させている。

野上 親が保育園等の対応を周知していないのでは。

野上 昭和48年、平成11年、15年には水害で大きな被害がでた。地震も警固断層だけでなく宇美断層もあり、被害がでるだろうと予想されている。保育園、学校等の防災訓練は充分にできているのか。

子育て課長 災害に対する具体的計画をたて、避難訓練も行っている。

野上 親が保育園等の対応を周知していないのでは。

野上 災害時だけでなく防災マップ等を利用し、町を挙げて防災に取り組んでほしい。

町長 地域でしっかり見守り、大事な時は地域と町が連携をとり、防災対策する。

野上 災害時だけでなく防災マップ等を利用し、町を挙げて防災に取り組んでほしい。

町長 現状では理想。包括的に考え全体をみながら検討。

牛房 地域や団体では行政に頼らず自主的に子どもの育成に取り組んでいる。「パワールアップスクール」や幼稚園保育園での「英語学習」など。地域や団体のパワーを引き出し育てていくこそが行政の責務。積極的支援を。

町長 しっかり調査し支援すべきものには支援していく。



パワフルキッズの様子



野上 順子 議員

中学生を災害時の担い手に 答弁／まずは自主防災組織を100%に

野上 中学校における防災教育では、少年消防クラブ等の育成強化に努める様になっている。中学生が防災の担い手になってほしいと思う。

総務課長 中学生が自主的に地域の自主防災組織の一員となるのはありがたいが、今は優先的に自主防災組織を設立していきたい。

野上 自主防災組織と同時に担い手も育ててほしい。高齢者見守りマップや災害弱者の見守りマップ等しつかり作るべきと思う。

災害弱者への対応は充分か 答弁／平常時の見守りがつながらる

福祉課長 名簿はつくっている。

野上 町に名簿ができていても、一番身近にいて支え合える人が知らない役にたたないのでは。

総務課長補佐 災害時には、すぐ出せる体制は整えている。

野上 災害時だけでなく防災マップ等を利用し、町を挙げて防災に取り組んでほしい。

町長 地域でしっかり見守り、大事な時は地域と町が連携をとり、防災対策する。

野上 災害時だけでなく防災マップ等を利用し、町を挙げて防災に取り組んでほしい。

野上 災害時だけでなく防災マップ等を利用し、町を挙げて防災に取り組んでほしい。

野上 授業中災害がおきたら保育園、学校で親がむかえに来るまで責任をもって、子供をみてくれるのか。

子育て課長 町立保育園は避難場所になっている。保護者には事前に対応は、周知させている。

野上 親が保育園等の対応を周知していないのでは。



防災訓練(南小校区)

もう少ししっかり伝えるべき。子育て課長 今後徹底して、より安心していただくようにする。



牟田口 武史 議員

学校教育に対する町長の思い

答弁／教育の方向性は一貫したもので

牟田口 小中学校において、校長先生が指導するが、校長は2年3年で変わられて、教育方針がころころ変わることがある。町として基本的教育方針を示すべきでは。町長 校長がかわったことによって、学校の指導方針が変わるのはよくない。そもそも継続性が必要であり、一貫したものでなければならぬ。

牟田口 20年より学習指導要綱が変わるが、学校教育課長 学力向上に向けて「志免町学力推進プラン」を作成し、授業づくり、集団づくり、習慣づくり、を柱として小中連携して取り組んでいる。牟田口 20年より学習指導要綱が変わるが、学校教育課長 20年よりさまざまなものが変わる予定。新学習指導要綱の試案が公表され、カリキュラムの作成等を各学校で取り組んでいる。

牟田口 先生方が余裕を持って授業ができる環境を。牟田口 先生方に負担をかけているのではないかと。牟田口 先生方が余裕を持って授業ができる環境を。



中学の部活動

中学校の部活指導者について

答弁／確保に苦慮している

牟田口 中学校の部活の指導者、また部活のあり方について、文科省では、週休2日を指導しているが、学校教育課長 連日の指導により、心的、身体的負担はあります。しかし、メリットとして、生徒とのつながりが濃くなり、理解が深まり、生徒指導がより効果的にできる。

牟田口 先生方に負担をかけているのではないかと。牟田口 先生方が余裕を持って授業ができる環境を。



末藤 省三 議員

町内のインフルエンザ対策

答弁／予防接種の整備を行っている

末藤 町内におけるインフルエンザ対策はどのようなになっているか。健康課長 対策として高齢者に対して予防接種を全町民に対してインフルエンザ予防の周知を行っている。特に高齢者の場合、重篤になる、肺炎という死亡原因も高くなるということで、定期の予防接種B類と位置づけられており、65歳以上は毎年予防接種を受けられるよう整備をしている。

末藤 子どもや家族がインフルエンザにかかった場合にどのような処置を行うのか。健康課長 家族内では違う部屋に移動し、マスクを使用したり暖かくすることも大切で、手洗いは第一条件と思う。子育て支援課長 保育園については手洗い、うがいを励行し身の回りを清潔に保つなど日常生活における衛生管理をきちんと行っている。

地方創生をどうみているか

答弁／加速化交付金は該当しない

末藤 地方創生のなかで一億総活躍社会を目指す、緊急対策600兆円の目標を掲げ、消費税10%増税を打ち出している。日銀がゼロ金利を行った。本来ならば各家庭が預貯金に利子が返ってくる。ここ23年間で住民が受け取るべき利子は376兆円にもなるはずがゼロ金利のために発行されない。さらに公的年金運用損失、年金積立管理運用独立法人が、年金積立金を使って、7.8兆円もの損失を株で大損しても誰も責任をとらない。地方創生加速交付金は申請したのか。経営企画課長 志免町においては合わない。



インフルエンザ対策

No.	質疑・意見	回答・対応
1	・中期財政計画と第5次総合計画との整合性について。	・財政計画については色々なシミュレーションを立て目標設定している。不確定なものもあり計画通りにいかない部分もある。総合計画との関係は特にはない。
2	・公共施設老朽化による建て替え件数と維持管理計画。	・現在調査中。
3	・高齢者見守り活動推進事業、誰が決めてどう進めるのか。同意方式で手は挙げたが今後どうしてくれるのかと尋ねられても答えられない、できるだけ早く方針をだしてほしい。	・各町内でそれぞれ考え方も違い一定の方向性を現在探っている。
4	・オンブスマンの調査、議会の公開度(西日本新聞掲載)について。	・各議案の賛否については議会広報に掲載する。見える化議会をめざし議会改革を進めたい。
5	・道路転落等危険箇所対策工事について。	・現在都市整備課で調査した中で、緊急、優先して行う箇所2,763メートル(80箇所)に予算をつけている。今後、年度を追って対応していく。
6	・議会議員の費用弁償(日当)について県外加算、日当の考え方について。 ・昨年、監査請求をだし結果通知があった。それには監査委員の意見が付してあったが、その事に対して行政の動きが全く見えない。	・県外加算について現行の1日から1夜に変更する。 1泊2日の場合 ●現行 2,000円(日当) + 3,300円(県外加算) × 2日分 = 10,600円 ●変更後 1日目分 2,000円(日当) + 3,300円(県外加算) = 5,300円 2日目分 2,000円(日当) 合計 7,300円 ・昨日も同様の質問をされた際に答弁をおこなった様に、行政は検討した結果条例は変えないと答えており、これは住民の審議会にも関わる問題でもあることで慎重審議を行った。貴重な提言として受け止める。
7	・消費生活相談窓口設置でこういった相談が増えているのか。	・詐欺の内容等大変複雑になっている。啓発資料を色々なイベントで配布し注意を喚起している。
8	・水道料金の値下げ(新町長の公約)改定をするのか。	・過去担当委員会でも色々シミュレーションをし検討してきた。本来もう少し値上げをしなければならない状況であった。
9	・PK2の活動場所が狭く、通所している子どもたちが不憫に感じる。今後どうされるのか。 ・広さの規定はあるのか。 ・空き家を利用する手もあると思うが。	・規定は無い。 ・柚の木としては精一杯やられている。PK2、行政とも相談したい。
10	・防災備蓄倉庫には、どういう物が入っているのか。 ・賞味期限切れはどうするのか。 ・社会福祉協議会で生活困窮者に臨時食料品の提供を行っているの、宜しくお願ひしたい。	・飲み水や缶詰など食料品や毛布ほか最低限必要な物。徐々に種類も量も増やしていく計画。 ・賞味期限内に、いろいろな施設や行事の景品などに使い無駄にしないよう利用する。
11	・住民が町内会を脱会したいと、役場に相談に行くと、「いいですよ、今脱退される方多いんですよ」と言うような返事の仕方をされる。如何なものかと思う。町内会脱退の問題は議会でもとり上げて頂きたい。	・議会から行政へ町内会への加入促進の説明を徹底するように伝えた。
12	・シーメイトグラウンド、町民広場はグラウンドゴルフやスポーツなどで使用する際の最小限の日よけやベンチを設置して頂きたい。	・町民広場は平成27年度中に設置いたします。 ・シーメイトについては今後の検討課題。 (行政の回答)
13	・焼却場跡地の公園整備資金として約3億円基金がある。公園整備で1億2,000万円掛かり、そのうち9,000万円は空港関係の補助金が下りて2,300万円が公園が出来ているので、2億何千万円の基金がそのままになっている。この基金はどうなっているのか。	・3億円の基金により公園整備を実施完了。 ・平成28年度、町内会に説明を実施いたします。 (行政の回答)

追跡 あん質問は どうなったの？

児童館の設置

子どもの遊び場がない。児童館の設置は。



今あるものを使った居場所づくりを町としては取り組んでいる。興味深い。今後の課題にしていきたい。

町内会活動の課題と検証

町内会未加入、非会員への加入の働きかけは。



転入手続きの際、案内のチラシを配布している。これからの時代に合った地域自治活動の在り方も含め研究を進めて行く。

意見書

意見書	提出者	内容	採決結果
TPP協定締結に関する意見書	末藤議員	国民生活の根本にかかわる極めて重大な政策転換であるので、農林水産分野の重要五品目に関し国益にかなったものとなっているか、十分な国会審議を求める。	賛成多数

意見書	提出者	内容	採決結果
食品におけるトランス脂肪酸の表示に関するもの	助村議員	トランス脂肪酸は過剰に摂取すると、心筋梗塞や虚血性疾患などの発症リスクが高まる。含有についての表示の義務化などの充実を要望する。	全員賛成